

松本大学との連携による観光資源のブランド化

自治体情報

長野県松川村

人口 / 10,053人

標準財政規模 / 4,585百万円

担当課 経済課

電話番号 代表 0261-62-3111

実施主体 松川村

関連ホームページ

事業期間 平成21年度から平成23年度まで

関係施策分類

予算関連データ

総事業費：600千円

名称	所管	金額(千円)
一般財源	-	600

施策のポイント

松川村と松本大学との観光業務提携による、観光資源（地域資源）のブランド化と、村民の意識改革（おもてなし）による観光客の誘致について、地域、行政、大学が連携し展開している。

施策の概要

1. 取組に至る背景・目的

松本大学とは平成21年度より観光業務提携をし、松川村の観光資源のブランド化を目的に提案を受けている。村は観光資源に乏しく観光産業も少ないため、これまではなかった地域大学との提携による新しい発想と、いろいろな角度で見た、観光振興を進めていくことが必要である。

2. 取組の具体的内容

全国にも一つしかない、すずむし保護条例を契機に、大学や学生からの提案なども取り入れながら、良い自然の中に育む、すずむしのイメージをブランド化し、地域に発展させながら、観光産業に結びつける活動を始めた。

3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

観光客入込数 20年度 518,000人

26年度 600,000人

4. 現在までの実績・成果

すずむしの里として、その音色を楽しむウォーキングマップ「プロポーズのコンサート」と題した、すずむしの音色を聞きながら散策する、松川村にしかないマップを共同製作した。また、これまでの提案を参考に企画した、「すずむしの棲む自然を楽しむハイキング」や「いわさきちひろが愛した景色 五感で楽しむウォーキング」を旅行商品として、500名以上が参加する旅行ツアーを実施。実施にあたりホスピタリティ「おもてなし」の授業の一環として、松本大学の学生と担当教授が村民とともにボランティア活動に協力いただき、地域資源のブランド化などについて村民が再認識することができた。

5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

住民の意識改革がなければ意味がないため、人づくりの大切さを感じた。地域を取り込んだ活動（行政区、既存の組織、団体）でなければ定着、進展しないため、住民が地域を再認識していただく必要があった。

6. 今後の課題と展開

地元では見逃しがちな、参加者に対する配慮などについても、大学側と意見交換を積極的に行うなど、村民との交流、学生目線での考え方や村の見え方を取り込んだ、これまでにない活動を展開することができたが、今後は地域協議会的な組織により取り組む体制づくりが必要である。また、村民観光大使制度も設立したため、うまく機能するよう、さらなる大学との連携や研修が必要である。